

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社すかいらーくホールディングス（証券コード:3197）**【見直し変更】**

長期発行体格付 A-
格付の見直し 安定的 → ポジティブ

【据置】

債券格付 A-

■格付事由

- ファミリーレストラン最大手。国内外に 3,100 店舗以上を構える。「ガスト」、「バーミヤン」、「しゃぶ葉」など、知名度のある多様なブランドを有し、幅広い顧客ニーズを捕捉している。国内では、食材の調達から製造、物流、調理、宅配まで一気通貫のサプライチェーンを構築している。24 年以降、「資さんうどん」の運営企業やマレーシアの外食企業を買収したほか、26 年 3 月には「しんばち食堂」の運営企業を買収を決めるなど、M&A を積極化している。グループの一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 利益水準が高まっている。効率的なサプライチェーンや多様なブランドを生かした業態転換の機動性が強みである。近年は「店舗中心経営」に取り組み、サービスや生産性の向上を図っている。これらによって、客単価を引き上げながらも、客数を伸ばし、食材価格や人件費などのコスト増を打ち返して収益性を高めている。買収したブランドの業績貢献も始まった。また、財務体質は健全である。のれんは多額となっているが、主要ブランドののれんの減損リスクは低位である。以上により、格付は据え置くが、見直しをポジティブに変更した。収益力の動向を見定め、格付に反映させていく。
- 25/12 期の営業利益（IFRS）は 299 億円（前期比 23.9%増）となった。既存店の増収効果や原価低減対策、買収ブランドなどが寄与した。26/12 期の会社計画の営業利益は 335 億円（同 11.8%増）である。インフレ影響が継続する見通しだが、既存店の集客力の強化に加え、新規出店や業態転換などの効果でカバーする方針である。地方ロードサイド店は「資さんうどん」への転換が増える見通し。今般 110 億円で買収する「しんばち食堂」は、当社の既存ブランドと競合しない都心部の狭小立地で展開できる低価格帯のブランドである。都心・駅前・市街地への出店を強化する当社の戦略に沿うものであり、出店ペースなどに注目していく。
- 25/12 期末の親会社所有者帰属持分比率は 36.2%であるなど、財務基盤は安定している。店舗数拡大に伴うリース負債増によって有利子負債は増加しているが、利益の資本蓄積も進んでおり、一定程度の財務構成が維持されている。運転資金負担も軽い。26/12 期は M&A を含め 500 億円を投資する計画だが、現状のキャッシュフロー創出力を踏まえると、財務面への影響は限定的と想定される。ネット借入金・社債を分子とする DER は 0.5 倍程度で管理されており、規律ある財務運営が継続されると考えられる。

（担当）殿村 成信・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：株式会社すかいらーくホールディングス

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A-	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2024 年 7 月 4 日	2029 年 7 月 4 日	1.268%	A-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	93億円	2025年4月16日	2030年4月16日	1.562%	A-
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	50億円	2025年8月28日	2035年8月28日	2.403%	A-

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026年4月1日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：殿村 成信
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「外食」（2023年6月1日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社すかいらーくホールディングス
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル